

『感謝の心を忘れてはならない』 ～ 『いずこにても いつにても』 ～

2025 年 4 月 6 日、Wife のアメリカの友人で 東久留米市のインターナショナル・スクール『クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン (Christian Academy in Japan, CAJ)』の教師のサプライズ誕生日会に赴いた。多数の参加者で、大変有意義な時間であった。

4 月 7 日、ひばりヶ丘駅→池袋駅→新宿駅→経堂駅の電車の中から、満開の桜を眺め心が癒された。【新渡戸記念中野総合病院だより 4 月号】の病院長の山根道雄先生の『新渡戸の言葉』を拝読し、『一日一言』(新渡戸稲造;1862-1933 著 岬龍一郎訳)の【4 月 7 日『故人に感謝を：一 一 忘れやすいのは、どれだけの人が 心を尽くして我々のために 便利を残してくれたことかということだ。一 一 故人に感謝の心を忘れてはならない。』】が鮮明に思い出された。

恵泉女学園中学校(208 名)と高等学校(187 名)の入学式に出席した。高等学校では、フランスとエストニアからの留学生も紹介された。『自分にしてもらいたいと望むとおり、人にもそのようにしなさい。』(ルカの福音書 6 書 31 節) & 『あなたがたが わたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。』(ヨハネの福音書 15 章 16 節)の復習となった。入学生の真摯な姿勢には大いに感動した。

恵泉女学園中学校・高等学校校長本山早苗先生の絵本『たいせつなきみ』(いのちのことば社)(画像)の話しには感銘した。【木の人形パンチネロは、何かへまをするたびに 仲間の人形たちから だめじるしシールをべたべたはられ、すっかり自信をなくしてしまう。そんなパンチネロに、すべての人形の造り主、エリが語りかける。『わたしには、おまえがとってもたいせつなんだよ』。『ぼくが? どうして?』にわかには 信じられないパンチネロだが…。『あなたは わたしの目には高価で尊い』という … 感動の物語。】と HP には紹介されている。

まさに、【『いずこにても いつにても』 出会いが大切である = 教育の原点】を痛感する今回の入学式となった。

